

ポイント5 内用痔疾用薬に用いられる成分と配合目的

分類	主な成分	配合目的
生薬成分	センナ（又はセンノシド）、ダイオウ、カンゾウ、ポタンピ、トウキ、サイコ、オウゴン、セイヨウトチノミ、カイカ、カイカクなど。	痔に伴う症状の緩和。
抗炎症成分	リゾチーム塩酸塩、プロメライン。	炎症を和らげる。
止血成分	カルバゾクロム。	毛細血管を補強、強化して出血を抑える。
ビタミン成分	ビタミンE（トコフェロール酢酸エステル、トコフェロールコハク酸エステル）。	肛門周囲の末梢血管の血行を改善。
漢方処方	乙字湯、芍帰膠艾湯。	痔の症状の改善。

Let's try the test

痔疾用薬に配合される成分及び製剤に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- 血管収縮作用による止血効果を期待して、タンニン酸が用いられる。
- 肛門部の創傷の治癒を促す効果を期待して、アルミニウムクロロヒドロキシアラントイネート（別名アルクロキサ）が用いられる。
- 痔疾患に伴う局所の感染を防止することを目的として、メントールが用いられる。
- 乙字湯は、体力中等度以上で、大便が硬くて便秘傾向がある人における、痔核（いぼ痔）、切れ痔、便秘の症状に適すとされている。

1 (a, b) 2 (a, c) 3 (b, d) 4 (c, d)

(平成25年度 山形 解答：3)

Let's try the test

次の外用痔疾用薬に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 痔に伴う痛み・痒みを和らげることを目的として、局所麻酔成分のアミノ安息香酸エチルが用いられる場合がある。
- 痔に伴う痒みを和らげることを目的として、抗ヒスタミン成分のエフェドリン塩酸塩が配合されている場合がある。
- 痔による肛門部の炎症や痒みを和らげる成分として、ステロイド性抗炎症成分のクロルヘキシジン塩酸塩が配合されている場合がある。
- 局所への穏やかな刺激によって痒みを抑える効果を期待して、冷感刺激を生じさせる酸化亜鉛が配合されている場合がある。

(平成29年度 奈良 解答：1)